

令和 7 年度 第 3 回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和 7 年 11 月 28 日(金) 13 時 30 分から 14 時 10 分まで		
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階 会議室		
議 題	定例報告及び紹介率向上への取組みについて		
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会会長	沼口 諭
	副委員長	大垣歯科医師会会長	馬淵 直樹
	委員	大垣市医師会副会長	竹中 清之
	委員	大垣市医師会理事	森 俊治
	委員	大垣歯科医師会副会長	北村 浩之
	委員	大垣市薬剤師会会長	松本 正平
	委員	大垣市女性連合会会長	竹中 昌子
	委員	岐阜協立大学看護学部准教授	遠渡 絹代
公開区分	公開		
傍 聴 人	なし		
概 要	<p>1. 報告事項</p> <p>(1)定例報告事項</p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況、⑧地域の医療機関との連携相談実績について報告した。</p> <p>①紹介率……7 年 4 月～7 年 10 月:71.0% 逆紹介率…7 年 4 月～7 年 10 月:143.8%</p> <p>②地域連携予約診察件数…7 年 4 月～7 年 10 月計:6,693 件 地域連携予約検査件数…7 年 4 月～7 年 10 月計:466 件</p> <p>③開放型病床登録医数…7 年 10 月末:162 人(医科 133 人、歯科 29 人) 開放型病床利用率…7 年 4 月～7 年 10 月:1.8% 緊急緩和ケア病床利用率…7 年 4 月～7 年 10 月:0.0%</p> <p>④救急受診患者数…7 年 4 月～7 年 10 月計:18,276 人(月平均 2,611 人) 救急車利用件数…7 年 4 月～7 年 10 月計:5,713 件(月平均 816 件) 救急入院患者数…7 年 4 月～7 年 10 月計:1,992 件(月平均 285 件)</p> <p>⑤地域医療従事者に対する研修…7 年 4 月～7 年 10 月開催数:15 回、院外受講者 299 人</p> <p>* 西濃地域神経内科病診連携研修会、病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会、西濃地区糖尿病メディカルセミナー等 市民対象講演会等…7 年 4 月～7 年 10 月開催数:7 回、院外受講者 307 人</p> <p>⑥地域連携クリニカルパス登録状況…7 年 4 月～7 年 10 月登録総数 377 件 7 年 10 月末時点でのパス開始からの登録総数:13,895 件</p>		

⑦OMNet 利用状況…7 年 10 月末時点の利用登録医療機関:147 機関

診療情報閲覧に同意した患者総数 48,699 人

⑧地域の医療機関との連携相談実績…7 年 4 月～7 年 10 月計:7,159 件

医療相談実績…7 年 4 月～7 年 10 月計:294 件

医療福祉相談 12,076 件

がん相談 645 件

2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。

(委員)

新患の患者さんとか、救急の患者さんとかのデータも昨年と比べて大きく少なくなっている訳ではないのですが、患者数の減少は、コロナとか終わって、そろそろ戻ってくるという事はないのでしょうか。

(事務局)

コロナの後に戻ってくるだろうと言われていたのですが、周りの病院とか他県の病院に聞いても、患者さんの受療行動が変化したみたいで、コロナ後患者さんが戻らないという病院が多いと思います。

減っていくというのを世の傾向だとして、良しとしてはいけないので、救急車のあり方について不適切な部分を改善したり、専任の職員が各医療機関を訪問するなどして連携を深めて紹介患者を増やしていきたいと考えていますので、先生方のご協力も非常にお願いします。

(委員)

相談窓口体制ですが、十分待ち時間なく対応できていますか。電話が繋がらなかったり、問い合わせが全く対応できなかったりするような時間帯はあるのですか。

(事務局)

相談について待たせることがないように努力しておりますが、午後から院内の患者さんの相談に伺ったりする場合があると対応できない時が稀にあるかもしれません。

(委員)

クリニカルパスがゼロがずっと続いているものは、休止とか止めてもいいのではないかと思います。

(事務局)

以前、全く動いていないクリニカルパスをデータから外した経緯があります。ただ、このように見る事によって多少プレッシャーになればいいかなという面もありますので、医師の認識が十分でない部分もあるかなと考えていますので、先生方にはこういうデータですという事をお見せして、ご協力をお願いしていくという事をやらせていただいておりますが、時期をみてあまり動いていないものは、外さざるを

得ないという事も、時期が来たらそのようにさせていただきます。

(委員)

地域医療連携部に看護師が9名在籍しているとお聞きしましたが、例えばがんの相談でしたら、がん看護専門看護師とか専門看護師がいますか。

(事務局)

すべてではありませんが、配置されているという形で運用させていただいております。

(2)紹介率向上への取り組みについて

1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。

- ①令和7年度4月から10月までの患者さんからの電話予約実績は447件。地域別では大垣市の先生が87.7%を占めている。診療科別では歯科口腔外科が36.9%を占めており小児科、耳鼻咽喉科の順となっている。
- ②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和7年度4月から10月まで30件。診療科別としては、皮膚科36.8%となっている。
- ③今年度から配置した病診連携推進員が延96件訪問し、当院の紹介、OMNetの勧誘を行い、OMNetで14件の新規申込を受け付ける事ができた。

2) 委員から、上記の報告について意見・質問はなし。

(3)下り搬送実績について

1)よろず相談・地域連携課から、下り搬送実績について次のとおり報告した。

- ①搬送件数は、昨年8月からの累計で合計137件となっています。

2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。

(委員)

下り搬送した後の転帰というのは、退院できたのか、亡くなったのか、施設に戻ったのかをデータとして集めた方がいいのではないかと思います。

(事務局)

その後どうなったかというのは、下り搬送にのせた時は、どこの病院に搬送したという連絡はさせていただきますが、そこから先は把握できていない患者さんもあるので、検討していきたいと思います。

	<p>2. その他</p> <p>(委員)</p> <p>先日救急に電話をした時に「それうちじゃないとダメですか」みたいな事を言われて、こちらは困って紹介しているのに、その対応はどうかなと思う事がありましたので、考えていただけたらと思います。</p> <p>(事務局)</p> <p>そのような事が無いように教育します。</p> <p>そのような対応は許されない対応ですので、そういう事例がありましたら、具体的に教えていただきますと指導も、より具体的にできますのでお願いいたします。</p> <p>(委員)</p> <p>救急外来で気持ちよく受け取ってもらえないと、患者さんからもそこに行きたくないという話になってしまいますので、教育というのは大事かなと思います。</p> <p>大垣市民病院でなくて他病院という流れができてしまうと、患者さんのイメージとしてもそんな風になってしまっははいけませんので、結構大事な入り口だと思いますので、その指導をよろしく願いしたいと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>電子処方箋はいつの時期から始められますか。</p> <p>(事務局)</p> <p>来年度の5月という事は聞いております。</p> <p>(委員)</p> <p>私自身、救急車にお世話になりましたが、市民病院に運んでほしいという希望が通らず、他のところに運ばれました。自分の希望は通らないのでしょうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>基本的に隊長がどこに搬送するかというのを決める事にはなっていますが、かかりつけのところが電子カルテを開ければ患者さんの状態がすぐに分かるので、やはりかかりつけの病院に搬送されるのが患者さんのためには良いと思いますが。</p> <p>(委員)</p> <p>大垣市民病院で急性期をやってみたいという看護師の学生が増えて就職するようになってきていますので、今後ともよろしくお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>引き続きその流れを太いものにしていきたいと考えております。ぜひよろしくお願い致します。</p>
次回開催	令和7年度第4回委員会は令和8年1月30日(金)を開催予定とする。

